

2011

護る

陸前高田市立博物館収蔵資料
の保存修復活動

拓本

安定化処置 軸装具本装具

東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会（以下、救援委員会）の要請により、東京国立博物館と共に、陸前高田市立博物館収蔵資料の救援活動に赴いたのが2011年7月でした。

陸前高田市では、全収蔵品56万点の内46万点がレスキューされ、NPOJCPはその内拓本、書跡、水彩画・油彩画、民俗資料、地籍図、絵図、写真など多岐にわたり、安定化処理を行っています。

※1 岩手県陸前高田市復興予算の受託事業として行われています。



文化財 ER 事業

2011年5月に宮城資料保全ネットワーク（東北大学）の要請により、岩手県大船渡市綾里C家の建具の調査に赴いたことをきっかけに、現地で3件のレスキュー活動を行いました。

その後、救援委員会等を通じて預かった大量の被災資料を京都において保全処置を行う「被災文化財救援プロジェクト（通称：ERプロジェクト）」を立ち上げ、NPOJCP 関西支部と京都造形芸術大学（現：京都芸術大学）日本庭園・歴史遺産研究センター歴史遺産研究部門の共催で処置を行ってきました。作業はNPOJCP 専門家と学生ボランティアによる協働で、水洗処置が中心です。一部資料については裏打などの修復も行いました。C家の建具については、東北大学災害科学国際研究所の援助などを受けて本格修理を終えました。2016年度からは、水洗作業を行うことが出来ない資料の処置、処置後の整理作業は歴史資料ネットワーク（神戸）の援助を受け継続しています。

※主にNPOJCP 被災文化財救援基金により行われています。修復処置に関しては、京都芸術大学や東北大学の資金援助を受けています。



建具処置中

2012

2013

2014

2015

仮設保存修復
施設完成※1民俗
美術
書
地籍図
調査

業務・修理

安定化処理・修理

安定化処理・修理

調査

(水彩画・版画/アクリル画・油彩画)

育む

陸前高田学校
(第1回)陸前高田学校
(第2回)陸前高田学校
(第3回)陸前高田学校
(第4回)

繋ぐ

文化財危機管理における人材育成

NPOJCP と東京国立博物館の共催による「文化財保存修復専門家養成実践セミナー」（詳しくはNPOJCP 活動紹介「育む」の応用編として、陸前高田市立博物館の仮設施設である旧生出小学校を会場とした「陸前高田学校」を開講しました。2016年は東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター（山形県）との共催で、「文化財の危機管理セミナー」を開講しました。

※(独)日本芸術文化振興会芸術文化振興基金、(公財)文化財保護・芸術研究助成財団の助成を受けて行われました。

シンポジウムの開催

社会における「文化財」の存在意義を認識し、文化財を支える「修復技術者」「保存専門家」の活動を伝えることを目的として、シンポジウム「今、文化財が社会にできること」Ⅰ、Ⅱを開催しました。



↑福島県飯館村の比曾芸能保存会による「三匹獅子舞」の演舞
※朝日新聞文化財団の助成を受けて行われました。

第Ⅱ回2014年4月では、民俗文化の継承に焦点を当て、有形無形の文化財保存と被災地の復興の試みをテーマとしました。

NPOJCP 主催
シンポジウム

NPO JCP 被災文化財救援募金

NPO JCP は、2011年4月21日より東日本大震災募金を開始しました。これまでの募金総額は、4,585,419 円となり、多くの被災文化財を救援することができました。また修復に関わる資材や調達関係につきましてもたくさんの援助を賜りました。現在は名称を「NPOJCP 被災文化財救援募金」として継続しております。皆様から賜りましたご寄付は、東日本大震災、熊本地震および各地で頻発する災害に対応するために使わせて頂きます。

みずほ銀行
【支店名】根津支店
【口座番号】普通 1091862
【口座名義】特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

2017

2018

2020

2023

安定化処理・修理
調査
調査
安定化処理
安定化処理文化財危機管理
セミナー

「文化財保存修復を目指す人のための実践コース」開講

2016

熊本県被災文化財救出支援活動

↑資料の応急
措置（風乾）

2016年に発生した熊本地震の被災文化財は、同年は文化庁のレスキュー事業として、その後は熊本県の事業として、救出・応急処置・整理・一時保管・返却が行われました。NPOJCP では、17～18年の2ヶ年、救出文化財の応急処置・整理についての作業支援を行いました。



資料応急措置・整理風景

宮城県亘理町被災美術品修理

宮城県亘理町郷土資料館に寄託されている「江戸清吉コレクション」は、東日本大震災の津波で被災しました。NPOJCP では、被災資料の内、著名人によるものを含む短冊帖の修理を請け負いました。

※宮城県亘理町の復興予算で行われました。



2019

10月12日 台風19号発生

川崎市市民ミュージアム
台風19号被災資料救援

台風19号により大きな被害を被った川崎市市民ミュージアムへ、文化遺産防災ネットワーク推進会議参画団体としてレスキュー支援に入りました。(2019年11月～)

2025年現在、レスキュー活動は継続して行われています。



※画像は川崎市報道発表より

2024

1月1日 能登半島地震発生

文化遺産防災
ネットワーク
推進会議参画
団体として能
登半島地震の
文化財レス
キューに参加